

学校で予防すべき感染症及び出席停止の期間について

第一種(エボラ出血熱、クリミア・コンゴ熱、重症急性呼吸器症候群(病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る)、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、鳥インフルエンザ)については、治癒するまで、出席停止となります。

	病名	主症状	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間	備考
第二種	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	高熱(39~40℃) 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳、鼻水、のどの痛み	飛沫 気接触	1~2日	発病してから 3~4日	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで	肺炎や脳炎などの合併症に注意。発熱や意識の様子に気をつける。
	百日咳	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫	1~2週	1~4週間	特有の咳が出なくなるまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで	3歳以下の乳幼児は肺炎を合併することがある。
	麻疹 (はしか)	発熱、鼻汁、目やに、 発疹、くしゃみ	飛沫 気接触	10~12日	発疹の出る前5日 ~出た後3、4日	熱が下がって3日を経過するまで	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱 耳の前下部の腫れと痛み (押すと痛む)	飛沫	2~3週	耳下腺の腫れる前 7日~腫れた後9 日間	耳下腺、顎下腺又は 舌下腺の膨張が発現 した後5日を経過し、 かつ、全身状態が良 好になるまで	思春期以後の感染では、睾丸炎、卵巣炎の合併に注意。
	風疹 (三日ばしか)	38℃前後の発熱 発疹 リンパ節の腫れ	飛沫	2~3週	発疹の出る前7日 ~出た後7日間	発疹が消えるまで	妊娠初期の感染は奇形児出生率が高い。
	水痘 (水ぼうそう)	発疹→水泡→かさぶた 軽い発熱	飛沫 気接触	2~3週	発疹の出る前1日 ~すべての発疹が かさぶたになるまで	すべての発疹がかさ ぶたになるまで	
	咽頭結膜熱 (プール熱)	38~40℃の発熱 のどの痛み、目やに、 結膜の充血	気道 接触 (結膜)	5~7日	発病してから 2~4週間	主な症状がなくなって 2日を経過するまで	医師の許可があるまで、プールには入らない。
	結核	軽い発熱 2週間以上続く咳 全身倦怠感	飛沫			症状に応じて医師が 感染のおそれがないと 判断するまで	
	髄膜炎菌性髄膜炎	高熱 皮膚、粘膜における出血斑 関節炎	飛沫	3~4日		症状に応じて医師が 感染のおそれがないと 判断するまで	
第三種	コレラ	嘔吐、下痢	経口	数時間~ 3日	発病してから 1~2週間		
	細菌性赤痢	38~39℃の発熱 腹痛、下痢	経口	2~5日	発病から数日で回 復期に入る		
	腸管出血性大腸菌 感染症(O-157)	激しい腹痛 水様性の下痢、血便	経口	4~8日			溶血性尿毒症症候群などの合併症に注意。
	腸チフス	発熱、風邪様の症状に続き、 下痢をおこす。	経口	1~2週間	約1ヶ月間	症状に応じて医師が 感染のおそれがないと 判断するまで	
	パラチフス	発熱、嘔吐、腹痛、下痢	経口	10~20時間	約1週間		
	流行性角結膜炎 (はやり目)	目の異物感、充血、 まぶたの腫れ、目やに、 瞳孔に点状の濁り	接触	4~10日	発病してから 1~2週間		医師の許可があるまで、プールには入らない。
	急性出血性結膜炎 (アポロ病)	目の激しい痛み、 結膜が赤くなる、 異物感、涙が出る	接触	1~2日	発病してから 5~7日間		医師の許可があるまで、プールには入らない。
	溶連菌感染症	38~39℃の発熱、のどの 痛み、扁桃が赤くはれる、ぶつ ぶつのある赤い舌、発疹	飛沫 接触	2~5日	潜伏期後半~ 急性期の間		出席停止期間の目安は、有効な治療が開始されてから3日間。(ただし、急性期症状の消失が前提)
	手足口病	軽い発熱(2~3日) 小さな水泡が口の中、 手足にできる	飛沫 気接触	3~6日	のどから1~2週間 便から3~4週間		ほとんど軽症であることから、通常は出席停止を行う必要はないが、まれに口腔内の痛みから、摂食不能となり脱水症を起こしたり、髄膜炎等の合併症を起こすことがある。
	ウイルス性肝炎	発熱、おうと、熱が下がった 後の黄疸	経口 血液	4~7週	黄疸の起こる 前後1週間	条件によっ ては出席停 止の措置 が必要と考 えられる感 染症の例	
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	両頬に少し盛り上がったジ ンマ疹様の発疹、発熱	飛沫	17~18日	症状出現後は感染 力が弱い		感染から17~18日を経て発疹症状を現すが、このころには感染の可能性は低い ため、通常は出席停止を行わない。
	ヘルパンギーナ	39℃前後の発熱 のどに小さな水泡ができ痛 む	飛沫 経口	2~7日			
	マイコプラズマ肺炎	発熱、激しい咳	飛沫	2~3週			
	流行性嘔吐下痢症 (感染性胃腸炎)	下痢、腹痛、嘔吐、発熱	経口	1~3日			
	伝染性膿痂疹 (とびひ)	顔や手に米粒から豆大の水 泡ができ、破れて膿がでる かゆみ	接触 (水泡の分泌物)	2~10日	水泡から膿の出る 間		医師の許可があるまで、プールには入らない。
伝染性軟属腫 (水いぼ)	1~5mm大の白色調のイボ ができ、大きいものは真ん中 に小さくぼみがある	接触			通常出席 停止の措 置は必要で ないと考 えられる感 染症の例	プールの入水は、化膿したり、悪化していない場合は、通常許可してよい。ただし、タオル、衣服等を介して感染しないよう気をつける。	
アタマジラミ	頭皮の湿疹や、はげしいか ゆみ	接触		シラミと卵がいなく なるまで		発見した場合、学校薬剤師の指示のもと、早期駆除を行う。	